

平成15年度以降五箇年間に行うべき道路の整備に関する事業の量 及び積雪寒冷特別地域における道路交通の確保について 参考資料

・社会資本整備重点計画に即して実施する道路整備事業に係る重点目標
< 社会資本整備重点計画第2章、第3章より抜粋 >

1 暮らし ~生活空間の充実等を通じた豊かな生活の実現

(1) 少子・高齢社会に対応したバリアフリー社会の形成等

- ・1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路及び信号機並びに不特定多数の者等が利用する一定の建築物及び住宅のバリアフリー化の割合 【道路 17%(H14) 約5割(H19)】

(2) 水・緑豊かな都市生活空間等の形成等

- ・都市域における水と緑の公的空間確保量
【H19までに約1割増(12㎡/人(H14) 13㎡/人(H19))】

(3) 良好な居住環境の形成

- ・市街地の幹線道路の無電柱化率 【7%(H14) 15%(H19)】

2 安全 ~防災の高度化の推進と交通安全対策の強化

(2) 大規模な地震、火災に強い国土づくり等

- ・災害時に広域的な救援ルートが確保されている都市の割合
【66%(H14) 76%(H19)】

(3) 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化

- ・道路交通における死傷事故率
【118件/億台扣(H14) 約1割削減(108件/億台扣)(H19)】
- ・道路構造物保全率 【舗装：91%(H14) 現在の水準を維持(H19)】
【橋梁：86%(H14) 93%(H19)】

3 環境 ~地球環境から身近な生活環境までの保全・創造

(2) 都市の大気汚染及び騒音等に係る生活環境の改善

- ・NO₂の環境基準達成率 【64%(H14) 約8割(H19)】
- ・夜間騒音要請限度達成率 【61%(H14) 72%(H19)】

4 活力 ~都市再生や地域連携、観光振興等を通じた、魅力と活力にあふれる経済社会の形成

(1) 国際的な水準の交通サービスの確保及び国際競争力と魅力の向上

- ・拠点的な空港・港湾への道路アクセス率 【59%(H14) 68%(H19)】

(3) 都市交通の快適性、利便性の向上

- ・道路渋滞による損失時間 【38.1億人時間(H14) 約1割削減(H19)】
- ・ETC利用率 【5%(H14) 70%(H19)】
- ・路上工事時間の縮減率 【235時間/キロ・年(H14) 約2割削減(H19)】

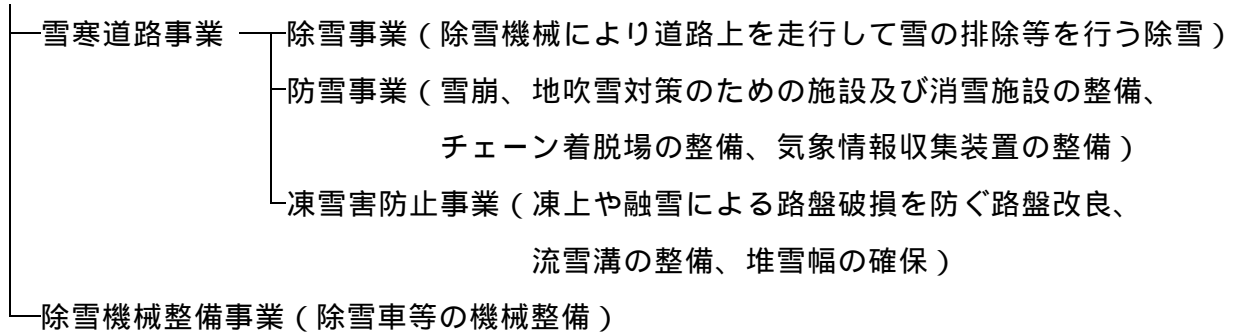
(4) 地域間交流、観光交流等を通じた地域や経済の活性化

- ・拠点的な空港・港湾への道路アクセス率(再掲) 【59%(H14) 68%(H19)】
- ・隣接する地域の中心の都市間が改良済みの国道で連絡されている割合
【72%(H14) 77%(H19)】

積雪寒冷特別地域における事業

1. 雪寒事業の概要

雪寒事業



2. 積雪寒冷特別地域略図

